

# 私たちの税金はここに使われた

令和2年度 決算総額231億7735万円を認定

## 一般会計

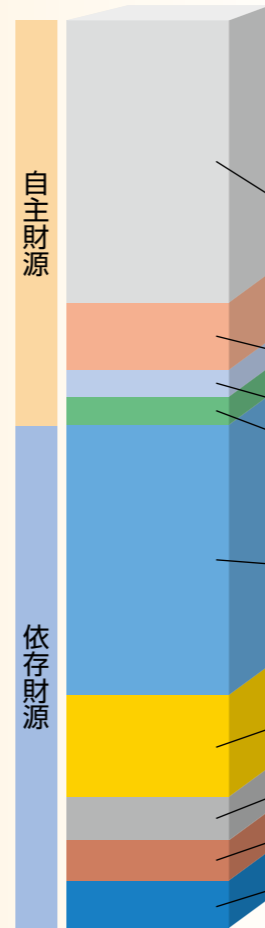
歳出 164億8882万円

	令和2年度決算	前年度比較
民生費	76億7578万円	36億4888万円 ↑
教育費	27億1706万円	6億8502万円 ↑
衛生費	18億1877万円	7億4238万円 ↑
総務費	13億3766万円	1億 149万円 ↑
土木費	11億 812万円	4965万円 ↑
公債費	8億9096万円	2629万円 ↑
消防費	5億6450万円	5146万円 ↑
その他	3億7593万円	9188万円 ↑
総額	164億8882万円	53億9704万円 ↑

↑ 増加 ↓ 減少

※千円以下は切り捨てしているため、合計が合わない場合があります。

歳出



歳入

## 一般会計

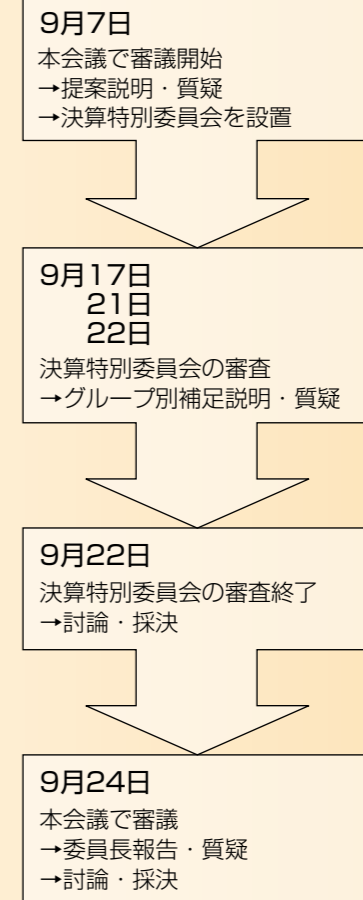
歳入 179億3646万円

	令和2年度決算	前年度比較
町税	55億6192万円	1162万円 ↓
繰入金	13億2412万円	1738万円 ↑
繰越金	5億3111万円	4億5208万円 ↑
諸収入など	5億5836万円	8271万円 ↓
国庫支出金	53億4987万円	40億 146万円 ↑
町債	20億1621万円	10億7677万円 ↑
県支出金	8億6059万円	4164万円 ↑
地方交付税	7億9251万円	1億1881万円 ↑
その他	9億4174万円	9978万円 ↑
総額	179億3646万円	57億1357万円 ↑

↑ 増加 ↓ 減少

※自主財源：町が自らの権限に基づき自主的に徴収できる財源。  
依存財源：国または県から定められた額を交付、割り当てられる財源。

## 決算審議の流れ



令和2年度決算については決算特別委員会を設置して、9月17日・21日・22日の3日間で各会計の歳入歳出決算事項別明細書などに基づき審査を行い、全ての会計決算を可決および認定しました。

**一般会計とは**  
一般会計は、行政の基本的な経費（福祉・教育・土木など）に要する経費を町税など、主な財源として経理する会計です。

**特別会計とは**  
事業目的を限定し、特定の歳入歳出で経理する会計です。

一般会計および各特別会計決算額				
会計等区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	
一般会計	179億3646万円	164億8882万円	14億4763万円	
特別会計	国民健康保険事業	35億6727万円	35億4510万円	2216万円
	財産区	13億4768万円	2202万円	13億2566万円
	介護保険事業	27億5225万円	26億3460万円	1億1764万円
	後期高齢者医療事業	5億 431万円	4億8678万円	1752万円
一般・特別会計の計	261億 798万円	231億7735万円	29億3063万円	
公営企業会計決算額				
会計等区分	歳入総額	歳出総額		
水道事業会計	収益的収支(税込み)	6億7250万円	5億1486万円	
	資本的収支(税込み)	2億 16万円	3億6562万円	
下水道事業会計	収益的収支(税込み)	9億6184万円	8億6974万円	
	資本的収支(税込み)	5億1125万円	8億2081万円	
公営企業会計の計	23億4576万円	25億7105万円		
合計	284億5375万円	257億4840万円		

収益的収支：経営活動の収益とこれに対する費用  
資本的収支：将来のサービスの安定を図るための設備投資などに要する資金の収受

令和2年度の一般会計と特別会計の合計決算額は、歳入が前年度より27.9%増の261億798万円、歳出が30.4%増の231億7735万円です。

中でも、一般会計は歳入が46.7%増の179億3646万円、歳出が48.7%増の164億8882万円と大幅に増大しました。これまでの最高であった平成30年度の歳入133億6784万円、歳出127億8881万円を更新し最高となっています。これは、1人10万円の特別定額給付金などにより民生費が前年度より90.6%増、広域ごみ処理施設建設の負担金などにより衛生費が69%増、給食施設整備などにより教育費が33.7%増えたことの影響です。

また、1に近いほど財源に余裕があるとされる「財政力指数」は、前年度より0.005ポイント減の0.88（過去3カ年平均）。人件費や公債費など経常的な支出に対する町税などの経常的収入の割合を示す「経常収支比率」は、前年度より2.6ポイント減の92.1%で財政の硬直化が改善されています。

町債の残高（企業債除く）は、前年度より12.6%増え104億3034万円となっています。